



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ツガミ
コード番号 6101 URL <http://www.tsugami.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役 社長執行役員 (氏名) 西嶋 尚生

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部 部長 (氏名) 早崎 敬二

TEL 03-3808-1711

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	28,411	231.4	3,330	—	3,104	—	2,547	—
22年3月期第3四半期	8,573	△56.7	△670	—	△853	—	△1,017	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	38.27	37.57
22年3月期第3四半期	△15.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	36,139	21,696	59.3	323.91
22年3月期	31,147	19,882	63.2	294.29

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 21,440百万円 22年3月期 19,677百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
23年3月期	—	5.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,300	145.5	4,400	—	4,200	—	3,100	—	46.64

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 68,019,379株 22年3月期 68,019,379株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 1,825,757株 22年3月期 1,154,303株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 66,552,300株 22年3月期3Q 67,066,212株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、予想につきましては、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 海外売上高	11
(2) 連結販売実績	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国等アジア新興国向け輸出に支えられ緩やかな回復基調でしたが、最近の急激な円高から今後の景気悪化への懸念が急速に高まってきております。

工作機械業界におきましては、中国等アジア新興国主体に市況は順調に回復してきておりますが、国内および欧州・米国向け市況は、未だ力強い回復とは言えず、円高の進行もあり依然先行き不透明な状況にあります。

このような状況の下、当社グループは中国生産の強化を図るとともに、更に高度化するIT関連ニーズおよび中国等新興国のニーズに応えるべく精密工作機械を積極的に市場に提供してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比231.4%の28,411百万円、営業利益は3,330百万円(前年同期は△670百万円)、経常利益は3,104百万円(前年同期は△853百万円)、四半期純利益は2,547百万円(前年同期は△1,017百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べて4,992百万円増加し36,139百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が822百万円、たな卸資産が3,134百万円、関係会社出資金が430百万円増加したことによるものです。

当第3四半期末における負債は、前連結会計年度末に比べて3,178百万円増加し、14,443百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が3,583百万円増加した一方、短期借入金が393百万円減少したことによるものです。

当第3四半期末における純資産は、前連結会計年度末に比べて1,813百万円増加し、21,696百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1,880百万円、その他有価証券評価差額金が281百万円増加した一方、自己株式が377百万円減少したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は59.3%と前連結会計年度末比3.9%の減少となりました。

②当期のキャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて113百万円減少し、3,729百万円となりました。当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、2,784百万円の増加となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益2,877百万円、仕入債務の増加3,831百万円により資金が増加した一方、売上債権の増加1,095百万円、たな卸資産の増加3,219百万円により資金が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、1,138百万円の減少となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出702百万円、関係会社への出資430百万円により資金が減少したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、1,703百万円の減少となりました。

これは主に、短期借入金の返済324百万円、社債の償還300百万円、自己株式の取得405百万円、配当金の支払い666百万円により資金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年11月12日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

税金費用の計算及び引当金の計上基準等については、一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,779	3,892
受取手形及び売掛金	8,364	7,541
商品及び製品	3,071	1,088
仕掛品	5,287	4,635
原材料及び貯蔵品	2,979	2,479
繰延税金資産	113	136
その他	918	459
貸倒引当金	△51	△43
流動資産合計	24,462	20,191
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,720	3,691
機械装置及び運搬具（純額）	1,625	1,729
土地	591	591
建設仮勘定	70	—
その他（純額）	230	195
有形固定資産合計	6,238	6,208
無形固定資産	131	53
投資その他の資産		
投資有価証券	4,537	4,283
関係会社出資金	657	226
長期貸付金	2	2
繰延税金資産	3	—
その他	88	155
投資その他の資産合計	5,287	4,667
固定資産合計	11,656	10,930
繰延資産	20	25
資産合計	36,139	31,147

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,529	6,946
短期借入金	615	1,008
1年内償還予定の社債	300	300
未払法人税等	264	67
賞与引当金	92	189
製品保証引当金	116	53
その他	712	730
流動負債合計	12,630	9,296
固定負債		
社債	600	900
繰延税金負債	309	129
退職給付引当金	810	837
役員退職慰労引当金	7	8
その他	85	92
固定負債合計	1,812	1,968
負債合計	14,443	11,264
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,599	10,599
資本剰余金	4,157	4,151
利益剰余金	6,671	4,791
自己株式	△584	△207
株主資本合計	20,843	19,334
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	744	463
繰延ヘッジ損益	20	△99
為替換算調整勘定	△168	△20
評価・換算差額等合計	597	343
新株予約権	255	204
純資産合計	21,696	19,882
負債純資産合計	36,139	31,147

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	8,573	28,411
売上原価	7,010	22,300
売上総利益	1,563	6,110
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	465	595
貸倒引当金繰入額	29	79
賞与引当金繰入額	7	19
退職給付費用	77	54
研究開発費	551	566
保険料	62	82
製品保証引当金繰入額	28	102
その他	1,011	1,280
販売費及び一般管理費合計	2,234	2,780
営業利益又は営業損失(△)	△670	3,330
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	26	83
助成金収入	127	—
受取保険金	32	37
その他	93	35
営業外収益合計	279	156
営業外費用		
支払利息	16	41
為替差損	55	284
手形売却損	32	29
休止費用	321	—
その他	36	27
営業外費用合計	462	383
経常利益又は経常損失(△)	△853	3,104

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	—	0
貸倒引当金戻入額	—	24
投資有価証券売却益	—	5
特別利益合計	—	30
特別損失		
固定資産除却損	—	0
固定資産売却損	1	4
投資有価証券評価損	—	179
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	11
和解金	—	60
特別損失合計	1	256
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△855	2,877
法人税、住民税及び事業税	51	268
過年度法人税等	17	—
法人税等調整額	93	61
法人税等合計	162	330
少数株主損益調整前四半期純利益	—	2,547
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,017	2,547

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△855	2,877
減価償却費	556	535
投資有価証券評価損益(△は益)	—	179
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△5
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△33	7
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△4	△28
受取利息及び受取配当金	△26	△83
支払利息	16	41
有形固定資産売却損益(△は益)	1	4
固定資産除却損	—	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	11
売上債権の増減額(△は増加)	△188	△1,095
たな卸資産の増減額(△は増加)	0	△3,219
仕入債務の増減額(△は減少)	2,012	3,831
その他	△291	△108
小計	1,188	2,947
利息及び配当金の受取額	26	29
利息の支払額	△16	△41
法人税等の支払額	△47	△150
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,151	2,784
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30	△30
定期預金の払戻による収入	30	30
有形固定資産の取得による支出	△200	△702
有形固定資産の売却による収入	10	5
投資有価証券の取得による支出	△1,081	△1
投資有価証券の売却による収入	—	33
出資金の払込による支出	—	△430
貸付金の回収による収入	24	0
その他	1	△43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,246	△1,138
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,000	1,573
短期借入金の返済による支出	△800	△1,897
社債の償還による支出	△300	△300
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△130	△405
配当金の支払額	△347	△666
リース債務の返済による支出	△4	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△581	△1,703
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20	△56
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△697	△113
現金及び現金同等物の期首残高	3,188	3,842
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,490	3,729

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

工作機械事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	中国 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
I. 売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,658	1,914	8,573	—	8,573
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,887	672	2,560	(2,560)	—
計	8,546	2,587	11,133	(2,560)	8,573
営業利益又は営業損失(△)	△899	216	△683	(△12)	△670

※1. 国別の区分の方法は、事業活動の地域的独立性によっております。

2. 当第3四半期連結累計期間のセグメント別営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能費用の金額はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計
I 海外売上高（百万円）	4,884	499	228	5,611
II 連結売上高（百万円）				8,573
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	57.0	5.8	2.7	65.5

※1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………台湾、タイ、香港、シンガポール、中国、韓国、インド

(2) アメリカ……………アメリカ合衆国

(3) ヨーロッパ……………ドイツ、スイス、イタリア、フランス

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、国内外で工作機械の製造及び販売を行っております。製造・販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」及び「中国」の各グループ会社の所在地を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	日本	中国	合計
売上高			
外部顧客への売上高	22,571	5,840	28,411
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,985	2,136	8,121
計	28,556	7,977	36,533
セグメント利益	2,562	780	3,343

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,343
棚卸資産の調整額	△12
四半期連結損益計算書の営業利益	3,330

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 海外売上高

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計
I 海外売上高（百万円）	18,090	1,775	1,970	21,836
II 連結売上高（百万円）				28,411
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	63.7	6.3	6.9	76.9

※1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………台湾、タイ、香港、シンガポール、中国、韓国、インド、フィリピン

(2) アメリカ……………アメリカ合衆国

(3) ヨーロッパ……………ドイツ、スイス、イタリア、フランス

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(2) 連結販売実績

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

(百万円未満切捨)

事業の種類別	当第3四半期 連結累計期間 (H22.4.1~H22.12.31)		前第3四半期 連結累計期間 (H21.4.1~H21.12.31)		比較増減		前連結会計年度 (H21.4.1~H22.3.31)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
自動旋盤	24,024	84.6	6,001	70.0	18,022	300.3	11,712	75.1
研削盤	1,630	5.7	737	8.6	892	121.1	997	6.4
マシニングセンタ	974	3.4	360	4.2	613	170.1	539	3.4
転造盤、専用機	1,275	4.5	1,129	13.2	146	12.9	1,834	11.8
その他	506	1.8	344	4.0	162	47.3	514	3.3
合計	28,411	100.0	8,573	100.0	19,838	231.4	15,598	100.0
(うち海外売上高)	(21,836)	(76.9)	(5,611)	(65.5)	(16,269)	(289.9)	(11,251)	(72.1)